

<p>単元名 反論を想定した意見文を書こう</p>	<p>内容のまとめ 〔知識及び技能〕(2) 情報の扱い方に関する事項 〔思考力・判断力・表現力等〕「B 書くこと」 (※新学習指導要領に対応した場合)</p>
--------------------------------------	--

1 単元の目標

- ・ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめようとする。
〔関心・意欲・態度〕
- ・ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめることができる。
〔書く能力〕 B(1)イ
- ・ 文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。
〔知識・理解〕〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(1)イ(イ)

2 本単元における言語活動

- (1) 与えられたテーマに対して自らの立場や根拠を明確にしたうえで、クラス内の異なる立場の人が作成した意見文の構成や内容を交流する。
- (2) 交流活動を踏まえて論の構成を再考し、反論を取り入れて意見文を書く。

3 単元の評価規準

「国語総合」〈平成 22 年版学習指導要領〉

関心・意欲・態度	書く能力	知識・理解
論理の構成や展開を工夫し、自分以外の立場の意見を踏まえて、説得力のある意見文を書こうとしている。	論理の構成や展開を工夫し、自分以外の立場の意見を踏まえて、説得力のある意見文を書いている。	説得力のある文章の組み立てを理解している。

「現代の国語」〈新学習指導要領〉

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア)	「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。(B(1)イ)	意見文の作成を通して、主張や論拠など情報と情報との関係について理解し、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう粘り強く書こうとする中で、自らの学習を調整しようとしている。

4 指導と評価の計画（全 6 単位時間）予定

次	学習活動	評価の観点	評価方法
1	○単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しを持つ。 ○論理的な文章の構成や要素について復習する。 ○より説得力のある意見文はどのようなものかを知る。	知識・理解	「記述の点検」

授業研究セミナー（道北ブロック・国語） 単元の指導と評価の計画

2	○意見文を作成するために、共通のテーマに対して主張と根拠を考える ○論の構成の骨組み（反論は取り入れていないもの）を作成する。	〔書く能力〕	「記述の点検」
3 本 時	○クラス内で主張・根拠を交流する。 ○自分と異なる立場の意見を取り入れてより説得力のある意見文の構成を再考しようとする。	〔関心・意欲・態度〕	「記述の確認」
4	○前次に作った構成案をもとに意見文を書く ○最初の構成案と交流後の構成案で説得力がどのように変わったかの記述を含めた本単元の自己評価・振り返りを行う。	〔書く能力〕	「記述の分析」

5 単元の流れ

次	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	○単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しを持つ。 ○論理的な文章の要素や構成について以前までの学習を振り返りながら復習する。 ○新聞の投書や以前自分たちが作成した作品をもとに、説得力のある意見文について知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで学習してきた内容を踏まえ、より根拠を厚いものにして説得力のある意見文を書けるようになることが学習の目標である。 ・1～2学年にわたり、国語総合において三角ロジックを基本とした論理の構成について学習してきた。今回はより説得力のある意見文とはどのようなものなのかについて知り、特に、反論や異なる立場の人を意識した意見文を書くことがポイントであることを伝える。 ・新聞の投書や生徒が以前作成した作品を複数提示し、より説得力のあるものはどれか、必要な要素は何か、どのような構成になっているかを考えさせる。 ・以上のことを踏まえ、意見文を書くにあたって、以下の要点に焦点を絞って指導する <p>① 論拠に基づいて説得力を高めているか ② 異なる立場の人の意見を取り入れているか</p>	<p>[知識・理解] 「記述の点検」 ワークシート 意見文として説得力のあるものはどのような特長があるのか、どのような要素が必要であるかを理解しているかを点検する。</p>

2	<p>○テーマ「成人年齢は 20 歳 or 18 歳のほうがよい」について複数の資料や実体験から自分の立場を明らかにする。</p> <p>○ワークシートを用いながら自分の意見文の要素や論の展開を構成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どちらの立場に立つかはランダムに設定する。 ・テーマに対し、ある程度のデータを提示し、それに加えて自らの体験や調べたことをもとに主張を支える根拠の部分を整理する。 ・三角ロジックワークシートに自分の意見文の要素を記入させる。このとき、箇条書きでよいことを伝える。 	<p>[書く能力] 「記述の点検」 ワークシート ロイロノートスクール 第 1 次の知識理解をもとに、三角ロジックを用いて自分の主張と根拠（データ・論拠）を考へることができているかを点検する。</p>
3 本 時	<p>○ロイロノートスクールを用いて自分の論の構成を作成する。</p> <p>○ロイロノートスクール上で自分とは異なる立場の意見を参照し、想定される反論として組み込み、意見文を再考する。</p> <p>○交流活動を通して自分の意見文の構成がどのように変わったかの感想を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、個人作業としてロイロノートスクール上で自分の意見文の構成を作成する。このとき、適宜色分けを行い視覚的にもわかりやすいものにする。 ・交流活動はロイロノートスクール上（WEB上）で交流を行う。全員の意見を参照し、特に、異なる立場の人の意見や論拠を想定される反論として自分の意見文に組み込む。 ・相互交流をしたのち、少なくとも誰かの意見や根拠を反論として取り入れたうえでそれに反論するかたちで自分の論の構成やデータの述べ方を再考する。このとき、ワークシートにも記入させる。 	<p>[関心・意欲・態度] 「記述の確認」 ロイロノートスクール（感想） 異なる立場の意見を参照し、想定される反論として自分の論の展開のなかに組み込み根拠や構成をよりよくしようとしているかを確認する。</p>
4	<p>○ロイロノートスクールで作成した論理の構成をもとに意見文を書く。</p> <p>○最初の構成案と第 3 次で作成しなおした構成案を比較し、本単元の自己評価・振り返りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で作成した構成をもとにあらかじめ用意したテンプレートワークシートに文章を書いていく。 ・ワークシートをもとに原稿用紙に意見文を書き完成させる。（800 字） ・提出前に自ら要点を確認させ、過不足がないか、論理の構成は適切かを添削する。 ・自己評価の際、立場の異なる人の意見が入っていない段階での構成と入れた場合との構成を比較し、どのように変化があったか、物事を客観的にみるとはどういうことかについて意識させる。 	<p>[書く能力] 「記述の分析」 作文 自分とは異なる立場の主張を取り入れて、より説得力のある意見文を書けているかを分析する。</p>